

いのちのドラマ

てんとうむし

黄色いマダラアゲハの卵
 1回の産卵数は10~40個のことが多いが
 76個にもあふぶこともある。
 卵化後1時間あまりで色が黒くなる。体長1ミリ。
 も虫みたいに体にはものようなものがあつたので
 どうみてもてんとう虫ではなさそうだった。
 てんとう虫はおどろくような変身がりだ。
 卵化 2日後 → 1回目の脱皮、体長3.5ミリ。
 黒地に赤点2つ見える。
 3日後 → 2回目の脱皮、体長5ミリ。
 赤い点は線に変わった。
 4日後 → 3回目の脱皮。体長8ミリ。
 4齢幼虫になる。
 これで終齢幼虫になり、
 仁王立ちの蛹になる。
 蛹から出てきた成虫は、あざやかな黄色で
 表面はざざらしていた。
 しばらくすると黄白色だったのが、橙黄色で
 赤くなった。

エサの食べ方大発見

- 幼虫 → 口で直接アリマキを捕らえて食べていた。
- 成虫 → 前足でアリマキを持ち食べていた。

カナヘビ

クビ"恐竜"

ぼくの家の庭には
 がたくさんいる。
 弟はいつか捕まえては遊がしている

目撃! カナヘビの交尾

あらまじい。
 カカしていると思った。
 オスがメスを追いかけて、
 腰にかみついている。
 交尾のあいだは、オス、メスともに
 動ごかなかつた。
 産卵や卵を見つけることはできなかったが
 友達に卵をもらつた。卵は、
 フヨフヨとやわらかく、強くつかむと
 フぶれしまつた。
 乾燥しないようにして注意して卵化を
 待たつたが、卵は大きくなるが、
 ゴム割りのようにはならなかつた。
 環境が悪かつたのか? 卵が悪かつたのか?
 残念だ。

フクロウ

今年の夏、明石公園の大きな木の上に
 5羽の家族でとまっていた。ぼくが
 小学1年生の頃は親鳥と赤ちゃんの
 3羽だけだつた。数年のうちに増えつた。
 毎年、同じ場所の木に止まっているので
 なあばりなのでしょうか。

繁殖形態は卵生。主に大木の樹洞に
 巣を作るので毎年とまっているこの大きな木に
 巣を作って卵を生み育てているのたうか。

食べ物は主にネズミ、モウソウと
 いった小型哺乳類を食べるが
 明石公園にはいすもない。
 小型の鳥類、昆虫を食べている
 のたうか。
 20年ほど生きるやうです。
 木からとまつた3羽のフクロウの
 家族に会えるのが楽しみです。

